

IV 調査結果の詳細

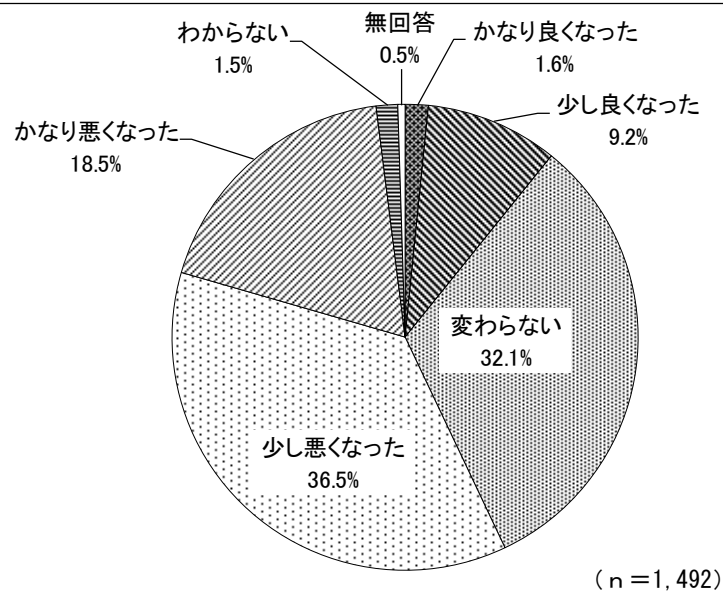
Ⅳ 調査結果の詳細

1 暮らしの変化について

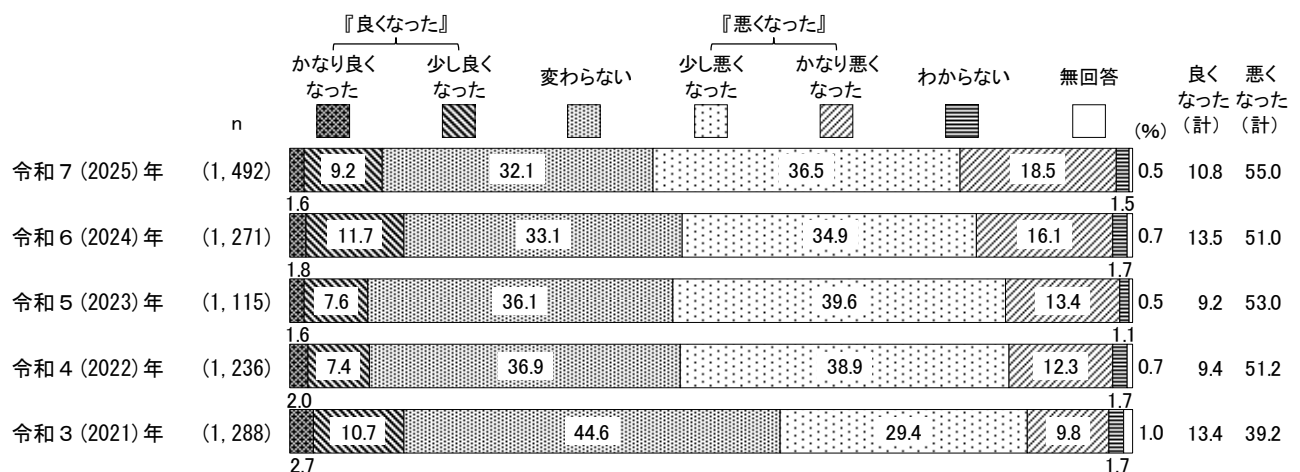
(1) 暮らしの変化

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

1 かなり良くなった	1.6%	4 少し悪くなった	36.5%
2 少し良くなった	9.2	5 かなり悪くなった	18.5
3 変わらない	32.1	6 わからない	1.5
		(無回答)	0.5

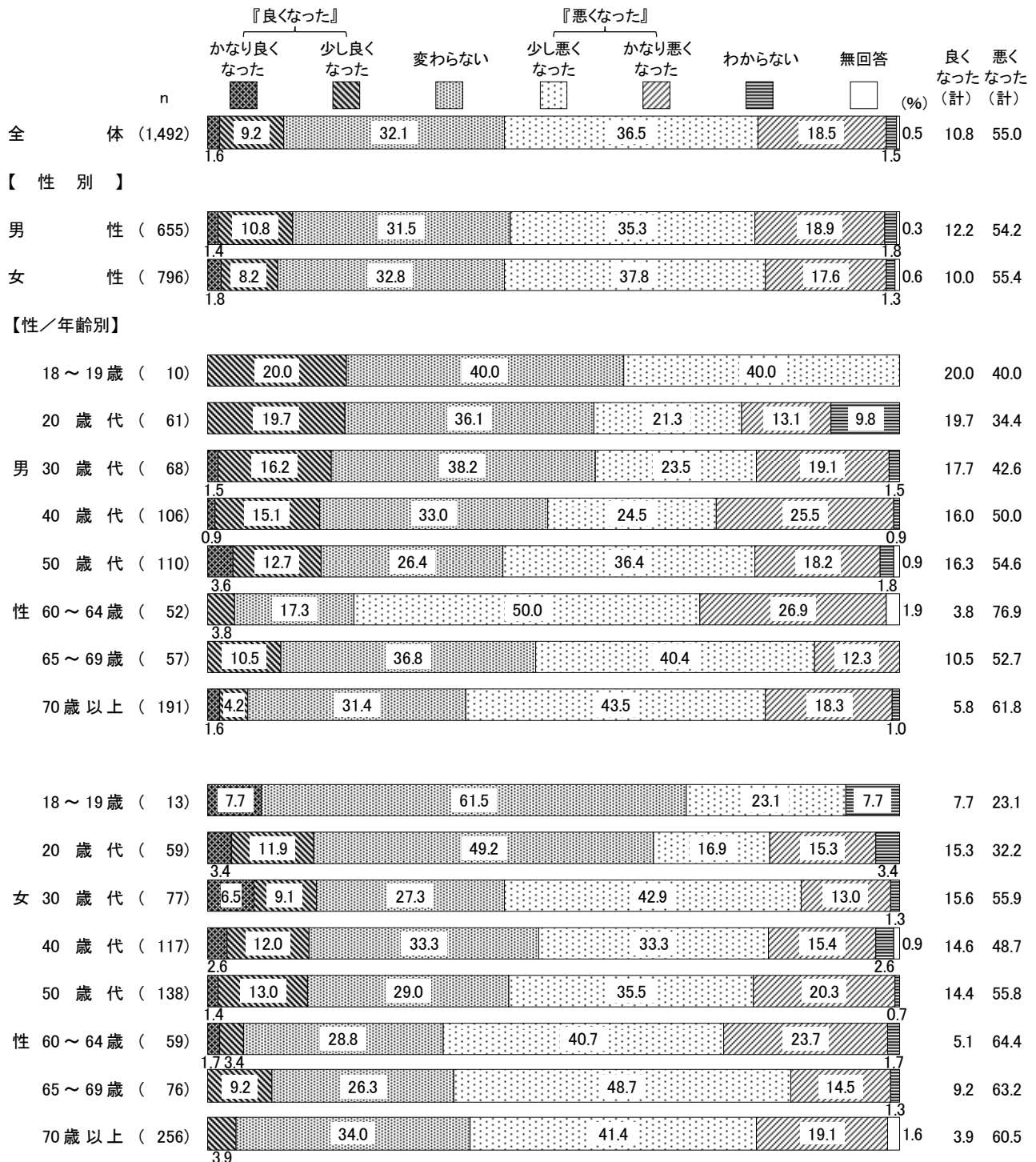


全体でみると、「かなり良くなった」(1.6%)と「少し良くなった」(9.2%)の2つを合わせた『良くなった』(10.8%)が約1割となっている。一方、「少し悪くなった」(36.5%)と「かなり悪くなった」(18.5%)の2つを合わせた『悪くなった』(55.0%)が5割台半ばとなっている。また、「変わらない」(32.1%)が3割強となっている。



過去の調査結果と比較すると、『悪くなった』が令和3 (2021) 年から概ね増加傾向が続き、令和3 (2021) 年から15.8ポイント増加している。

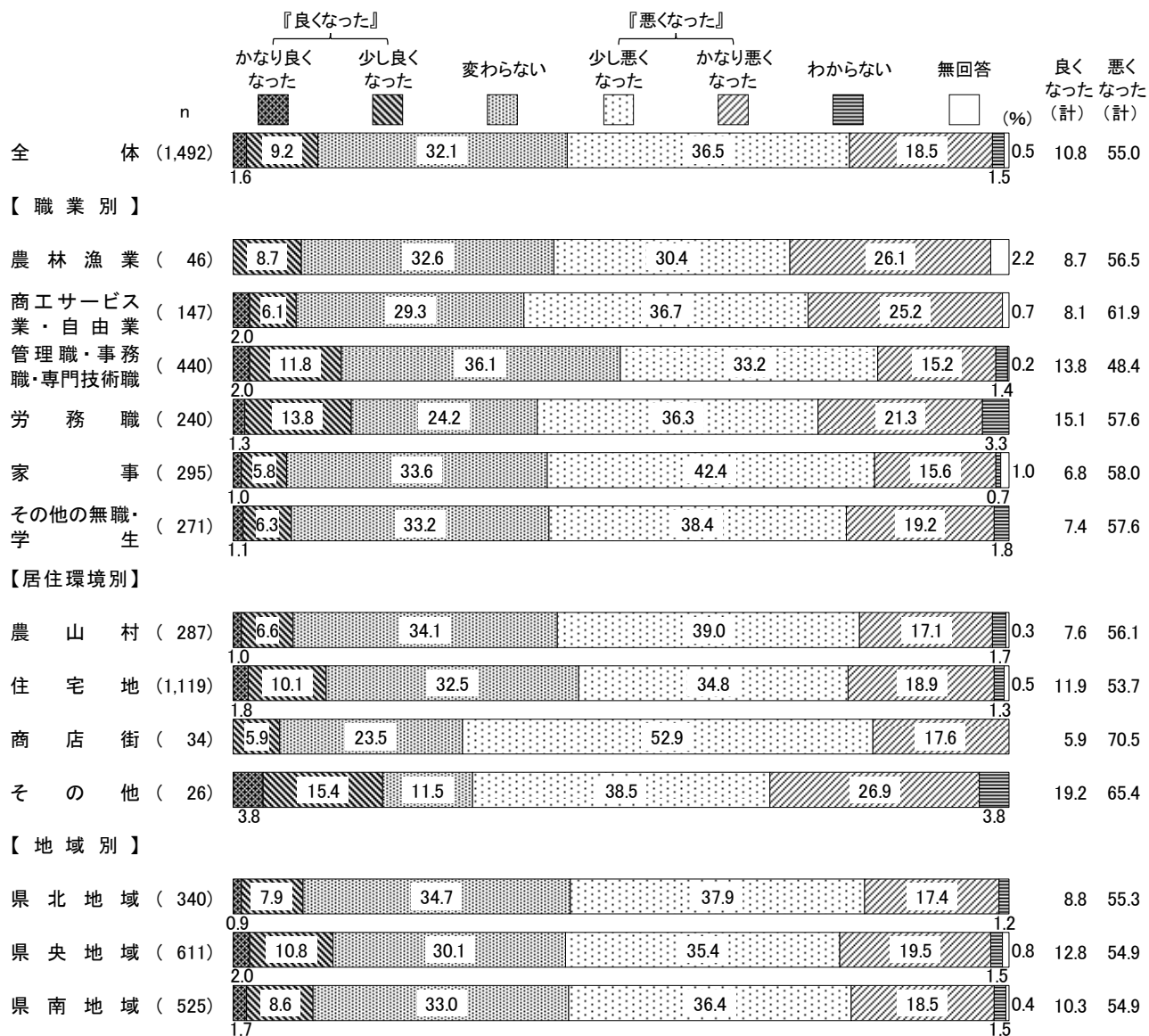
〔性別・性／年齢別〕



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『良くなった』では〈男性20歳代〉が19.7%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈男性60～64歳〉が76.9%と高くなっている。「変わらない」では〈女性20歳代〉が49.2%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『良くなった』では〈労務職〉が15.1%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈商工サービス業・自由業〉が61.9%と高く、〈管理職・事務職・専門技術職〉が48.4%と低くなっている。

居住環境別でみると、『良くなった』では〈住宅地〉が11.9%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈商店街〉が70.5%と高くなっている。

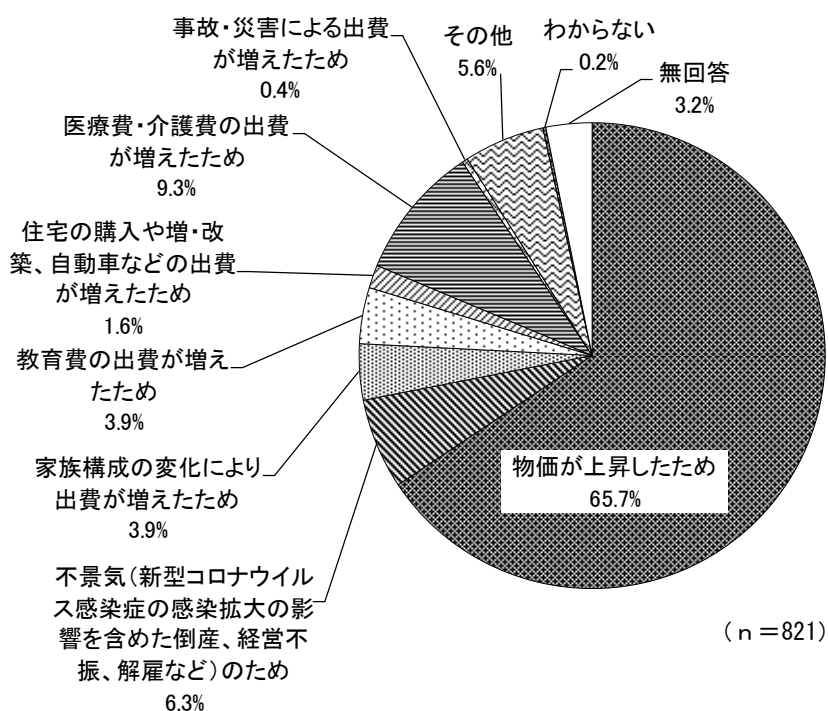
地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(2) 暮らしが悪くなった理由

(問1で選択肢「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)

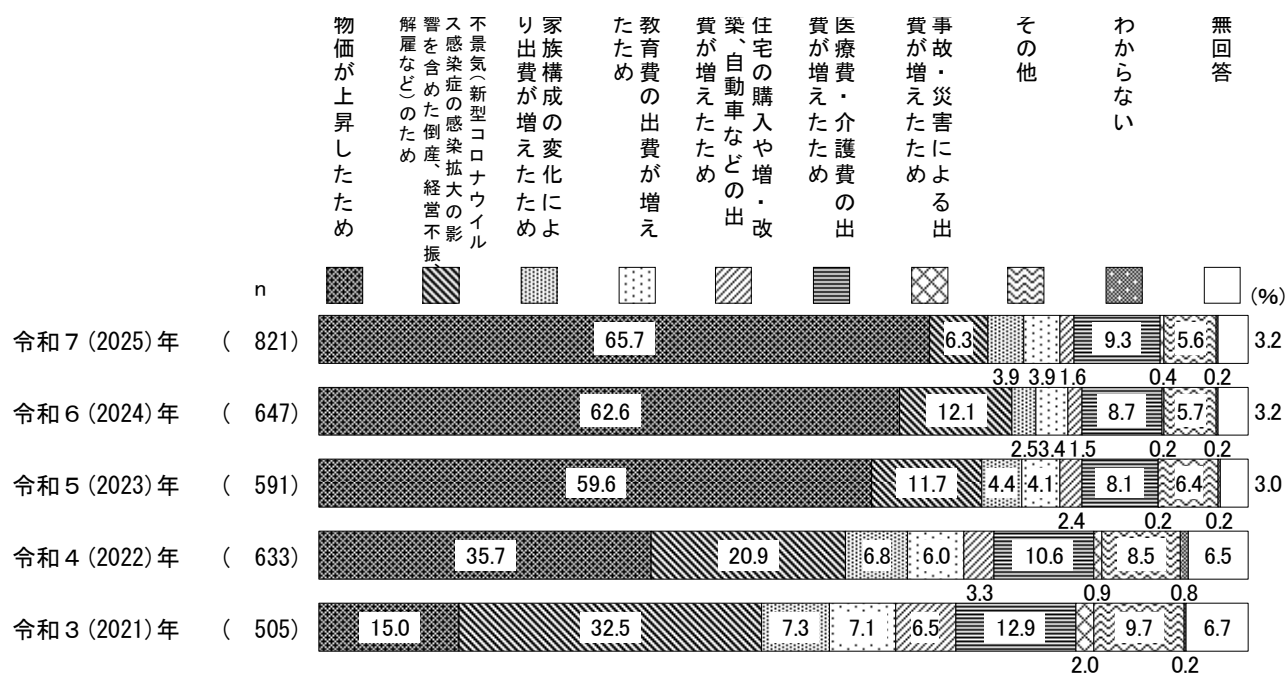
問2 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。 [n=821]

1	物価が上昇したため	65.7%
2	不景気（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を含めた倒産、経営不振、解雇など）のため	6.3
3	家族構成の変化により出費が増えたため	3.9
4	教育費の出費が増えたため	3.9
5	住宅の購入や増・改築、自動車などの出費が増えたため	1.6
6	医療費・介護費の出費が増えたため	9.3
7	事故・災害による出費が増えたため	0.4
8	その他	5.6
9	わからない	0.2
	(無回答)	3.2



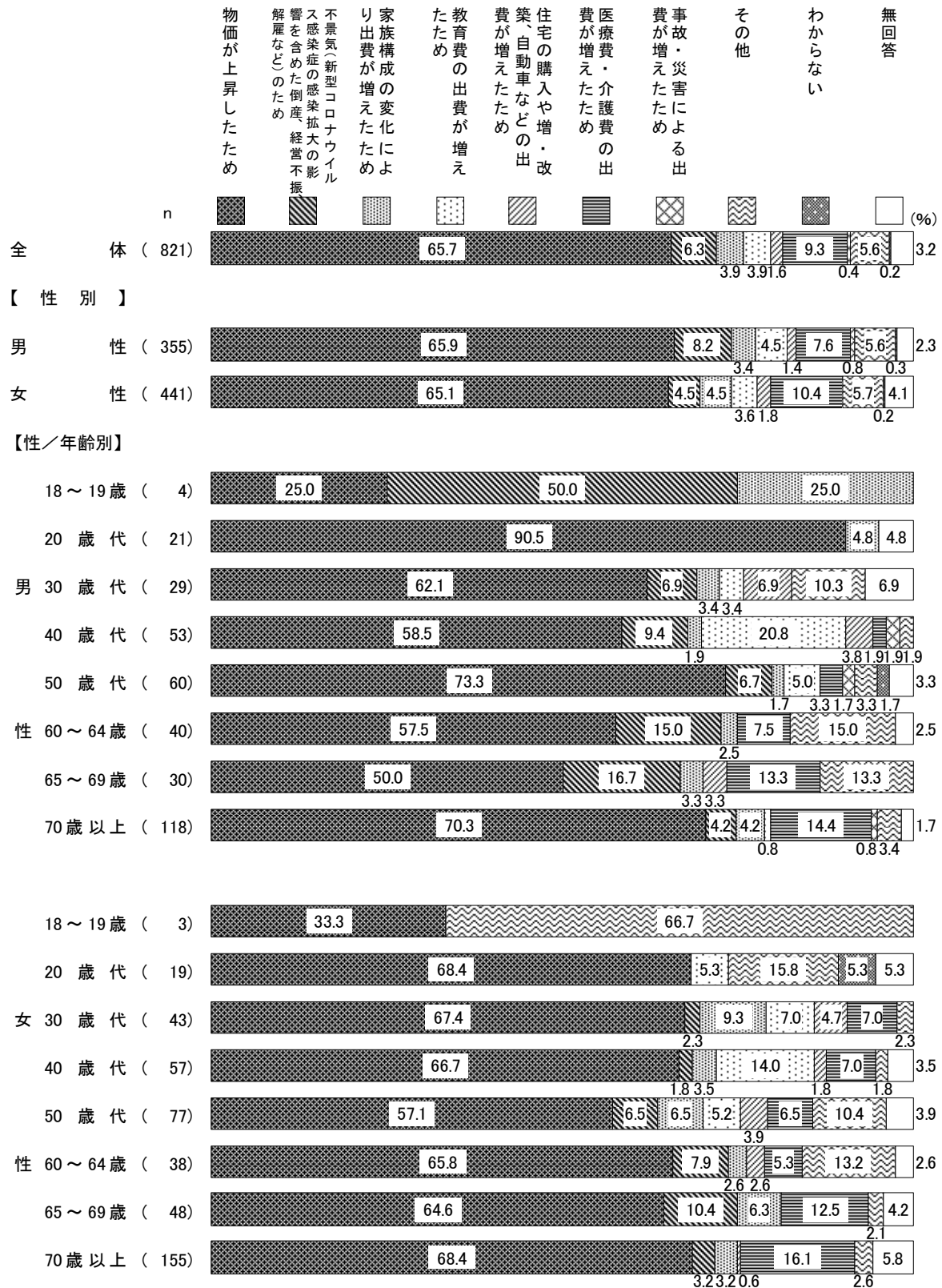
全体でみると、「物価が上昇したため」(65.7%)が6割台半ばで最も高く、次いで「医療費・介護費の出費が増えたため」(9.3%)、「不景気(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を含めた倒産、経営不振、解雇など)のため(以下『不景気のため』という。)」(6.3%)の順となっている。

[過去の調査結果]



過去の調査結果と比較すると、「物価が上昇したため」が前回（令和6(2024)年）から3.1ポイント増加している。一方、『不景気のため』が5.8ポイント減少している。

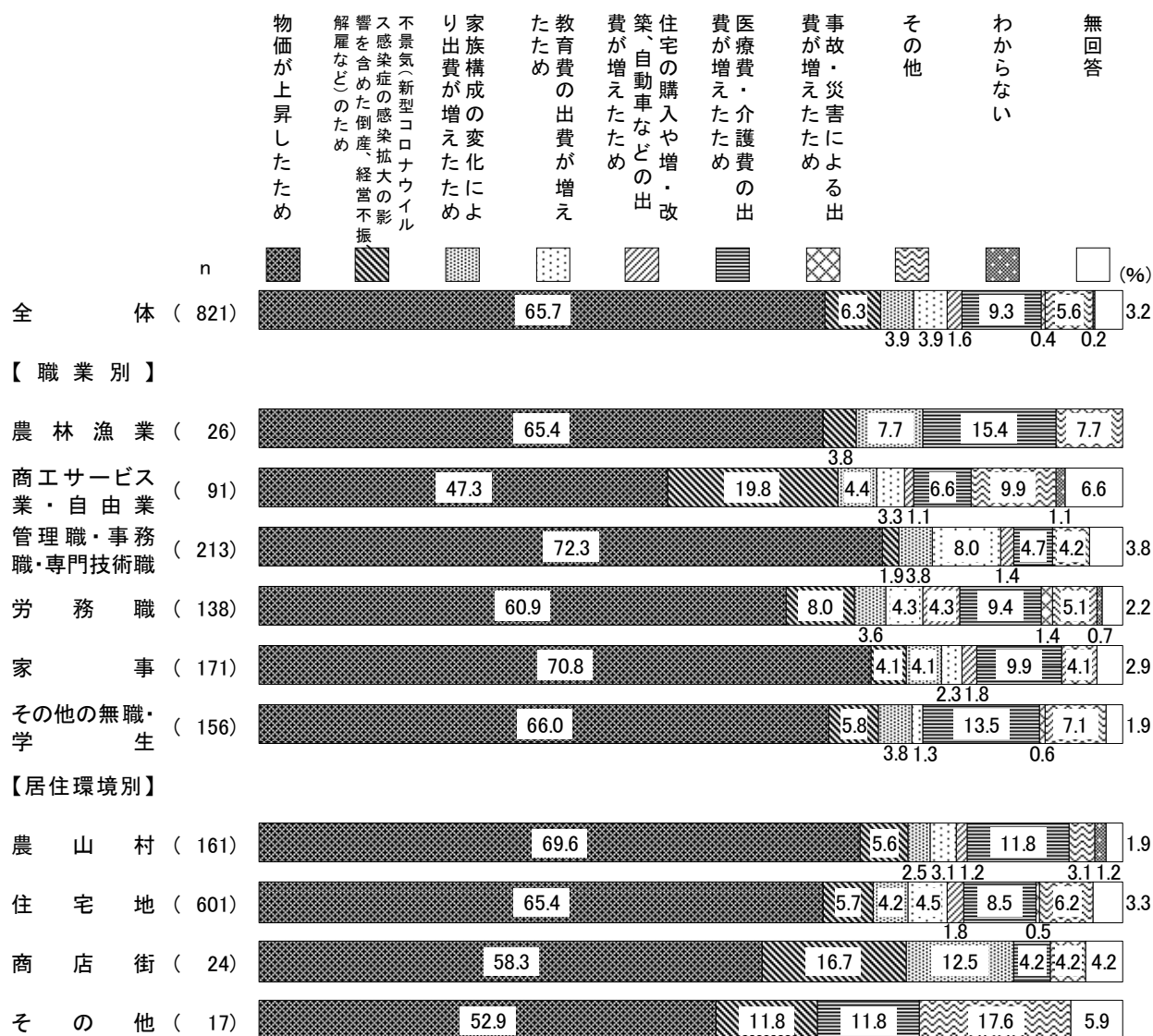
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「物価が上昇したため」では〈男性20歳代〉が90.5%と高くなっている。『不景気のため』では〈男性65～69歳〉が16.7%と高くなっている。「教育費の出費が増えたため」では〈男性40歳代〉が20.8%と高くなっている。「医療費・介護費の出費が増えたため」では〈女性70歳以上〉が16.1%と高くなっている。

〔職業別・居住環境別〕



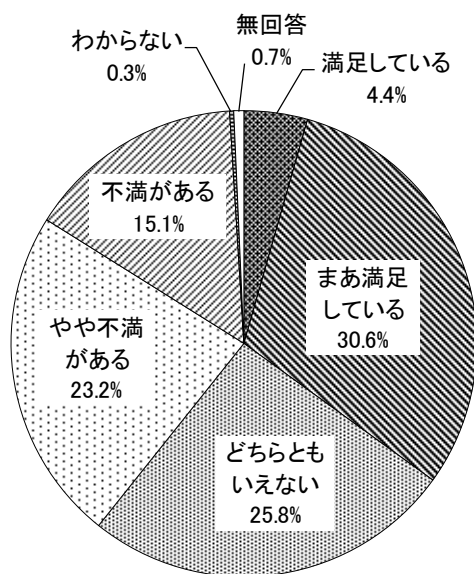
職業別でみると、「物価が上昇したため」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が72.3%、〈家事〉が70.8%と高くなっている。『不景気のため』では〈商工サービス業・自由業〉が19.8%と高くなっている。「医療費・介護費の出費が増えたため」では〈農林漁業〉が15.4%と高くなっている。

居住環境別でみると、「物価が上昇したため」では〈農山村〉が69.6%と高くなっている。『不景気のため』では〈商店街〉が16.7%と高くなっている。

(3) 暮らしの満足度

問3 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

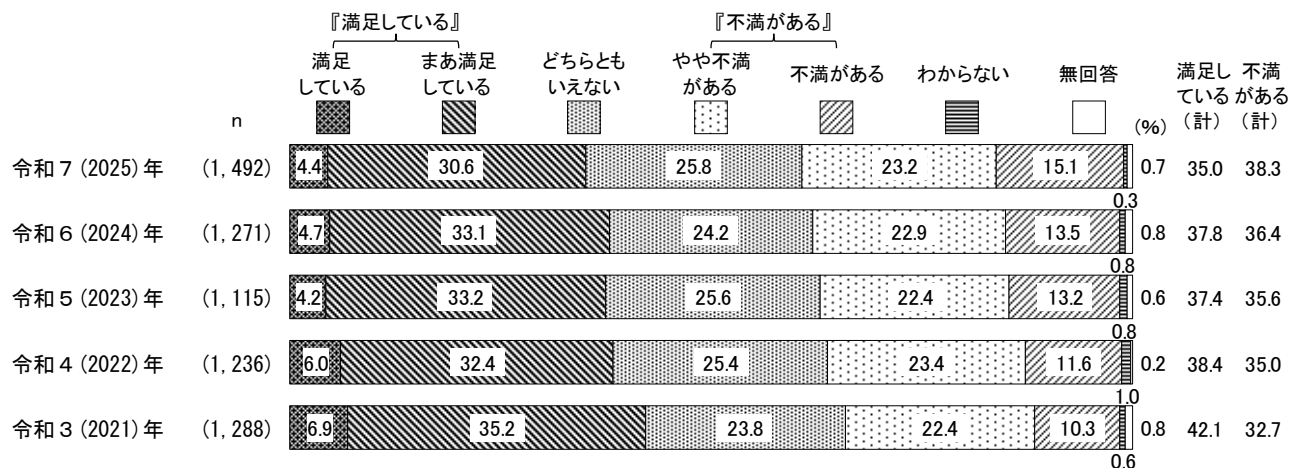
1 満足している	4.4%	4 やや不満がある	23.2%
2 まあ満足している	30.6	5 不満がある	15.1
3 どちらともいえない	25.8	6 わからない	0.3
		(無回答)	0.7



(n=1,492)

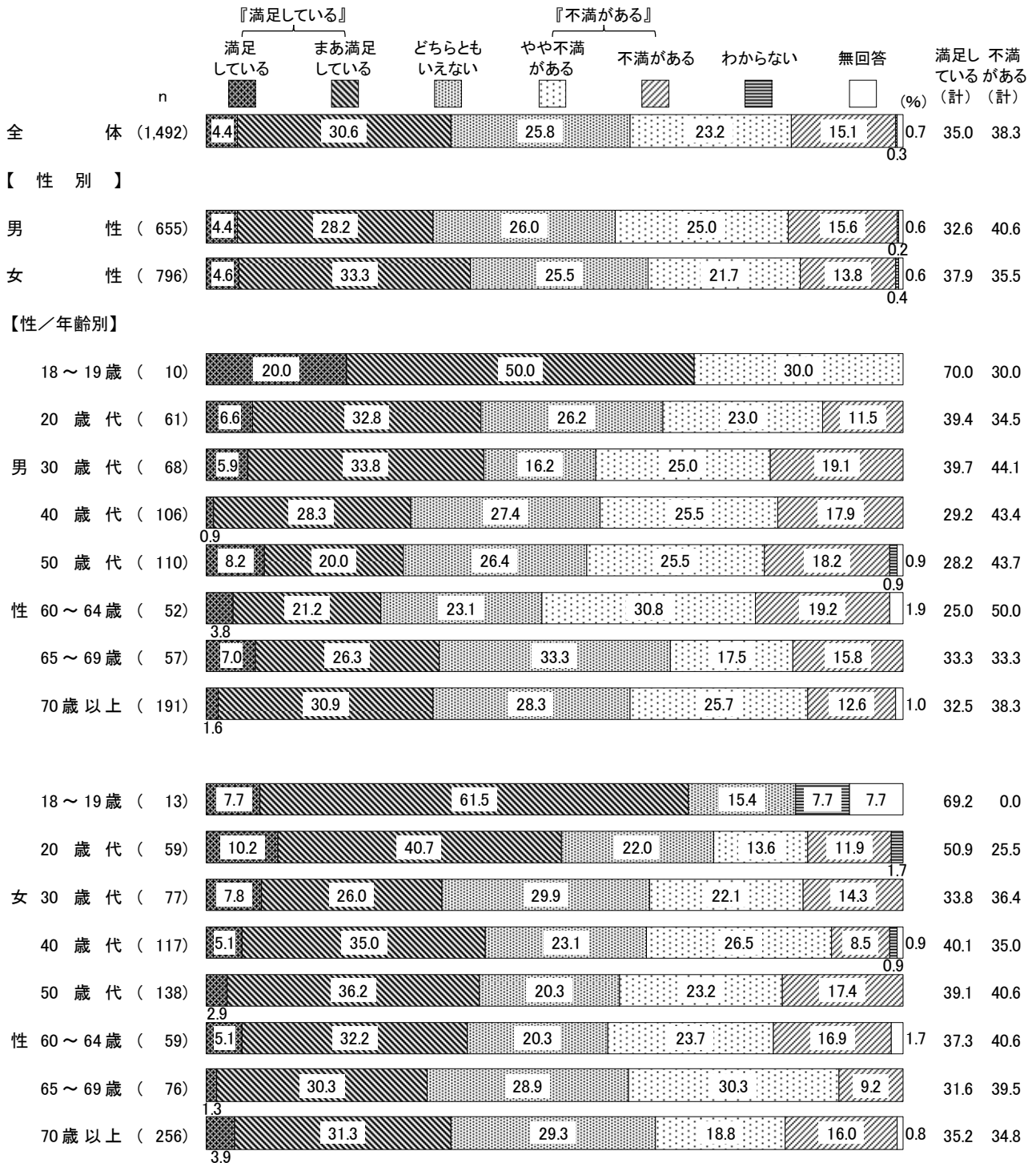
全体でみると、「満足している」(4.4%)と「まあ満足している」(30.6%)の2つを合わせた『満足している』(35.0%)が3割台半ばとなっている。一方、「やや不満がある」(23.2%)と「不満がある」(15.1%)の2つを合わせた『不満がある』(38.3%)は4割近くとなっている。また、「どちらともいえない」(25.8%)が2割台半ばとなっている。

[過去の調査結果]



過去の調査結果と比較すると、『満足している』が令和3(2021)年から減少傾向が続き、令和3(2021)年から7.1ポイント減少している。

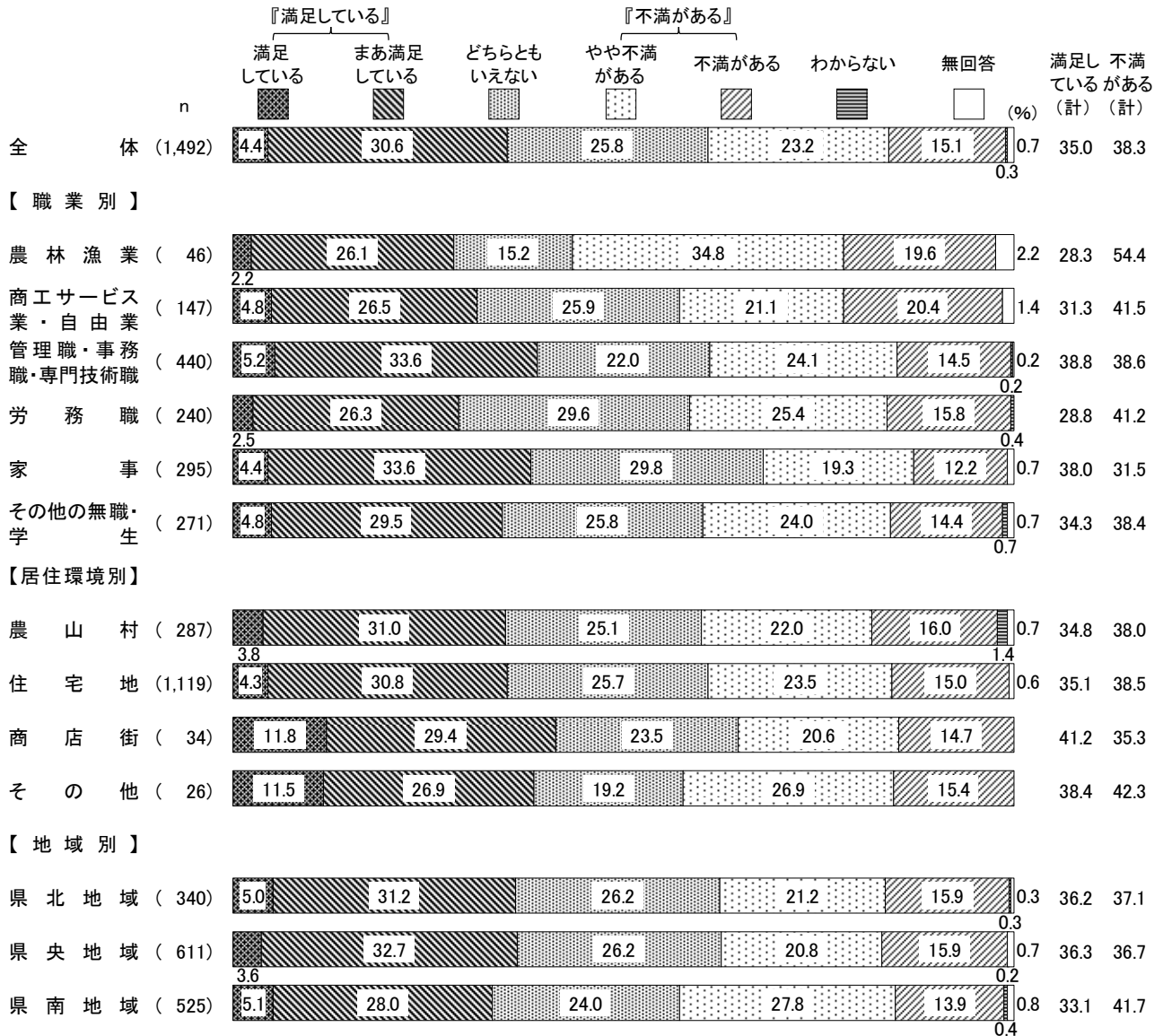
〔性別・性／年齢別・職業別〕



性別でみると、『満足している』では、〈女性〉（37.9％）が〈男性〉（32.6％）より5.3ポイント高くなっている。

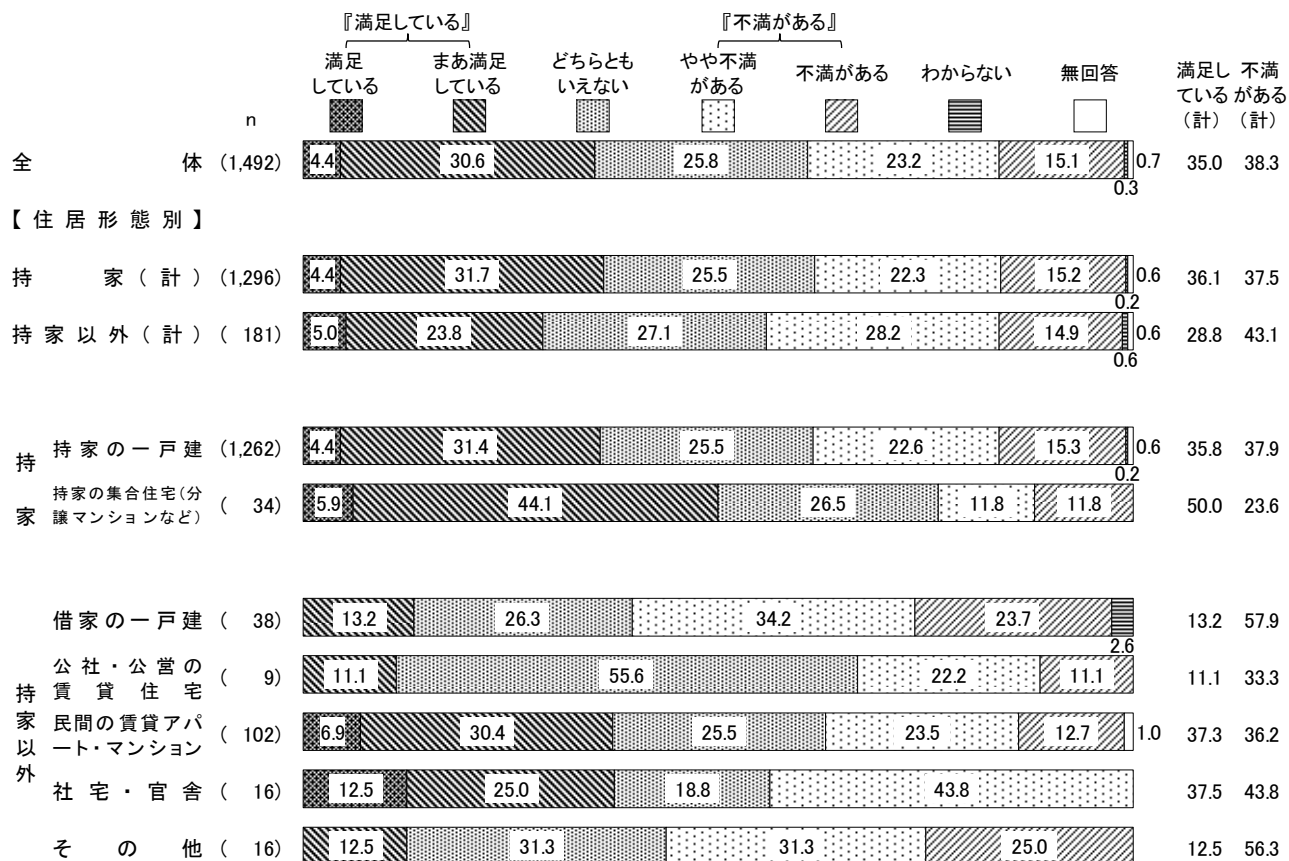
性／年齢別でみると、『満足している』では〈女性20歳代〉が50.9％と高くなっている。一方、『不満がある』では〈男性60～64歳〉が50.0％と高くなっている。

〔職業別・居住環境別・地域別〕



職業別でみると、『不満がある』では〈農林漁業〉が54.4%と高くなっている。
 居住環境別でみると、『満足している』では〈商店街〉が41.2%と高くなっている。
 地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

〔住居形態別〕

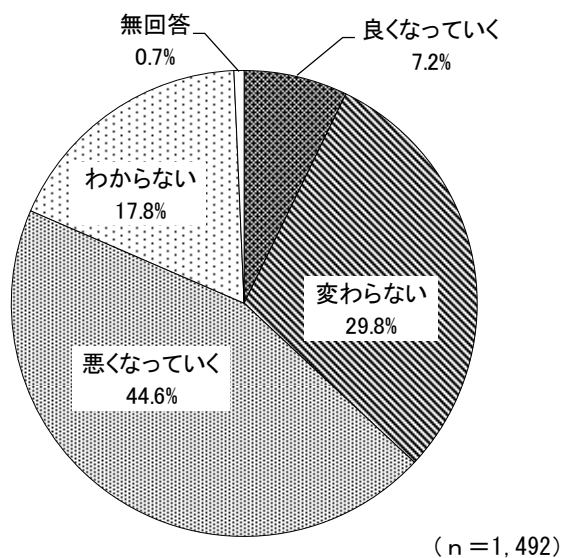


住居形態別でみると、『満足している』では〈持家 (計)〉 (36.1%) が〈持家以外 (計)〉 (28.8%) より7.3ポイント高くなっている。また、〈持家の集合住宅 (分譲マンションなど)〉が50.0%と高くなっている。『不満がある』では〈借家の一戸建〉が57.9%と高くなっている。

(4) 今後の暮らしの状況

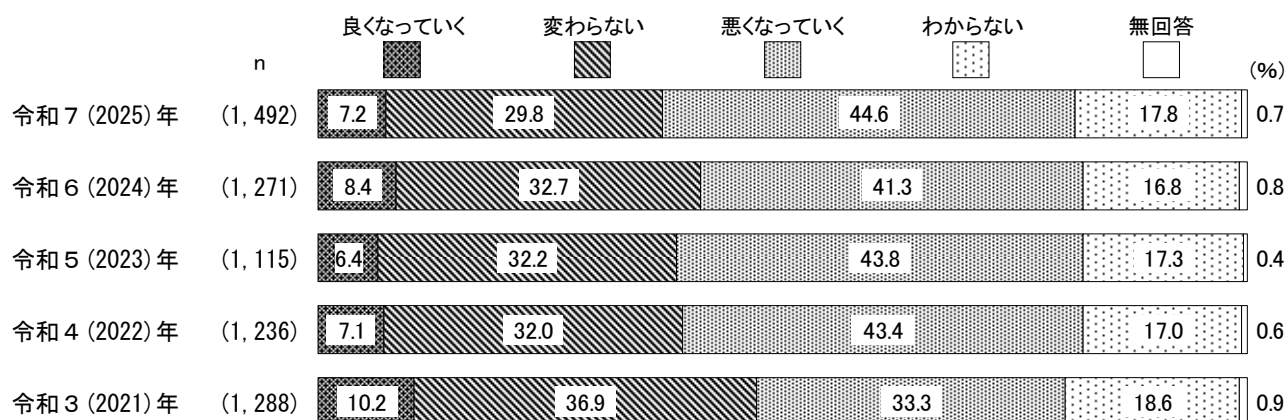
問4 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

1 良くなっていく	7.2%	3 悪くなっていく	44.6%
2 変わらない	29.8	4 わからない	17.8
	(無回答)		0.7



全体でみると、「悪くなっていく」(44.6%)が4割台半ば近くとなっており、「変わらない」(29.8%)が3割弱となっている。

[過去の調査結果]

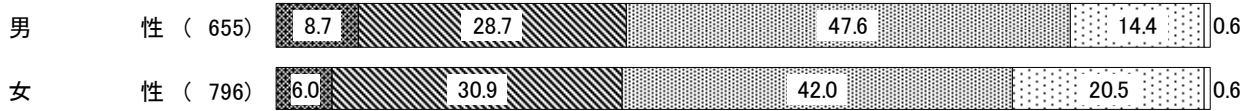


過去の調査結果と比較すると、「悪くなっていく」が令和3(2021)年から11.3ポイント増加している。

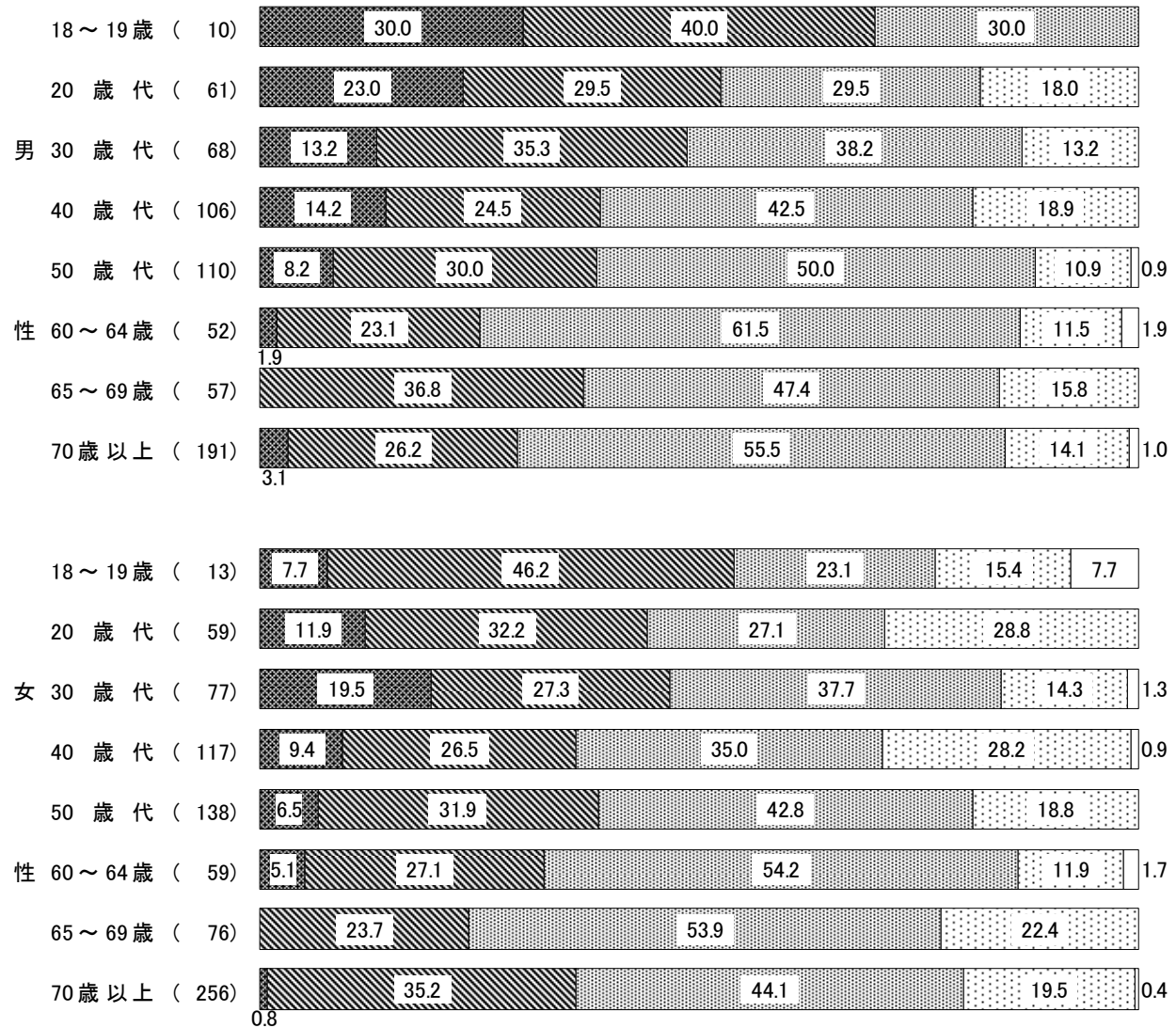
〔性別・性／年齢別〕



【性別】



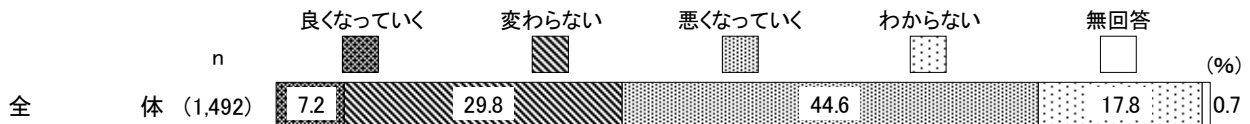
〔性／年齢別〕



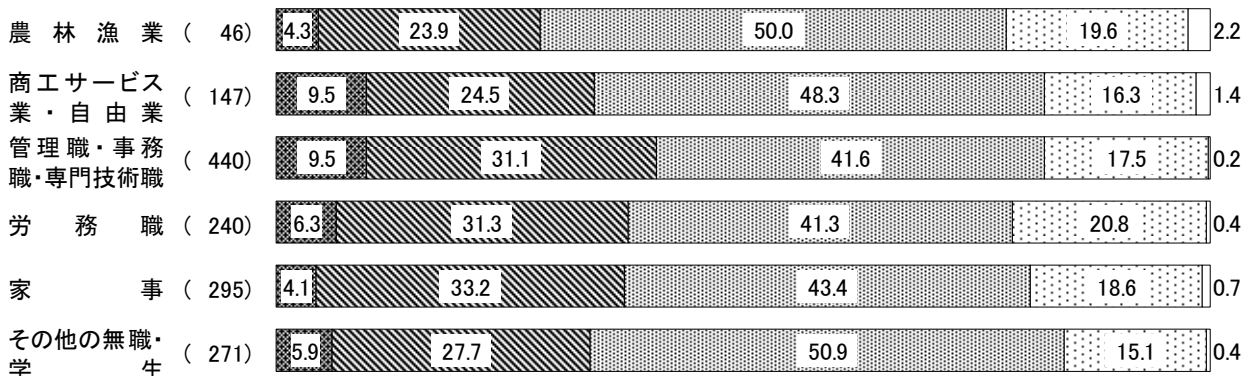
性別でみると、「悪くなっていく」では〈男性〉(47.6%)が〈女性〉(42.0%)より5.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「良くなっていく」では〈男性20歳代〉が23.0%と高くなっている。一方、「悪くなっていく」では〈男性60～64歳〉が61.5%と高くなっている。

【職業別・居住環境別・地域別】



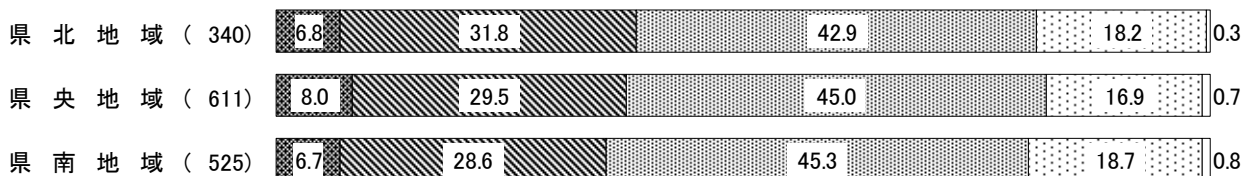
【職業別】



【居住環境別】



【地域別】



職業別でみると、「悪くなっていく」では〈その他の無職・学生〉が50.9%、〈農林漁業〉が50.0%と高くなっている。

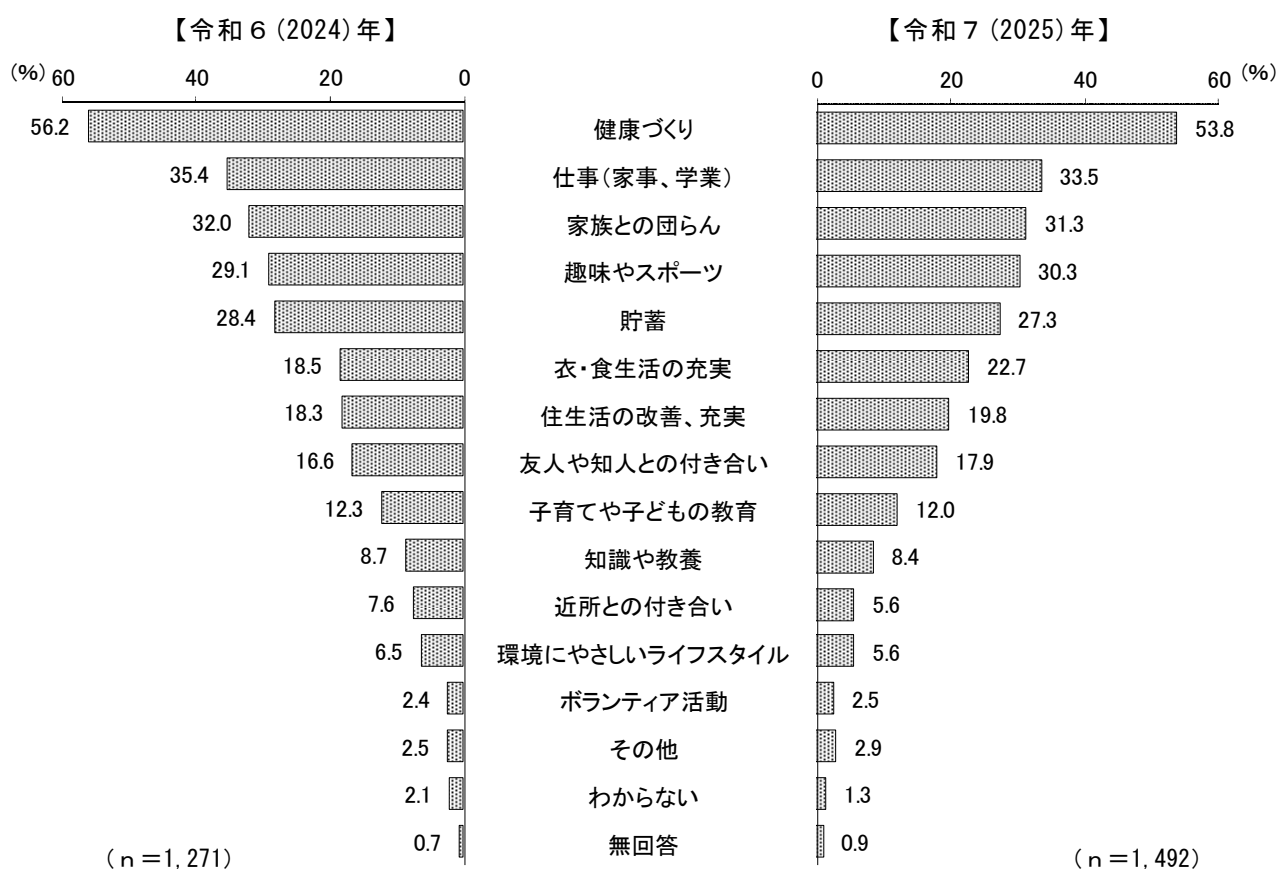
居住環境別でみると、「悪くなっていく」では〈商店街〉が50.0%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(5) 今後の暮らしで力を入れる点

問5 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。 [n=1,492]

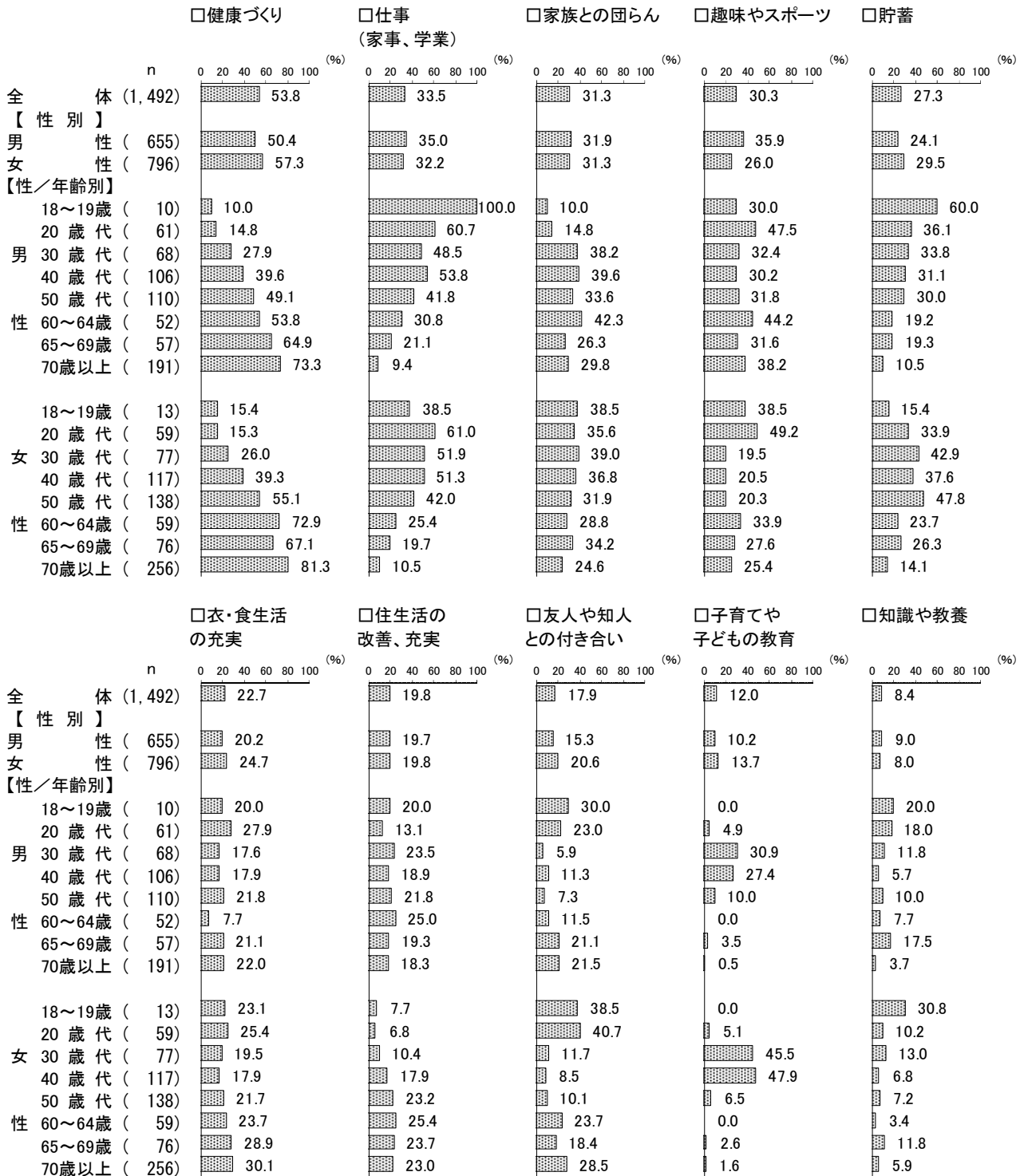
1 仕事（家事、学業）	33.5%	9 家族との団らん	31.3%
2 知識や教養	8.4	10 近所との付き合い	5.6
3 貯蓄	27.3	11 友人や知人との付き合い	17.9
4 趣味やスポーツ	30.3	12 子育てや子どもの教育	12.0
5 ボランティア活動	2.5	13 健康づくり	53.8
6 衣・食生活の充実	22.7	14 その他	2.9
7 住生活の改善、充実	19.8	15 わからない	1.3
8 環境にやさしいライフスタイル	5.6	（無回答）	0.9



全体でみると、「健康づくり」(53.8%)が5割台半ば近くと最も高く、次いで「仕事（家事、学業）」(33.5%)、「家族との団らん」(31.3%)、「趣味やスポーツ」(30.3%)、「貯蓄」(27.3%)の順となっている。

前回（令和 6 (2024) 年）の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

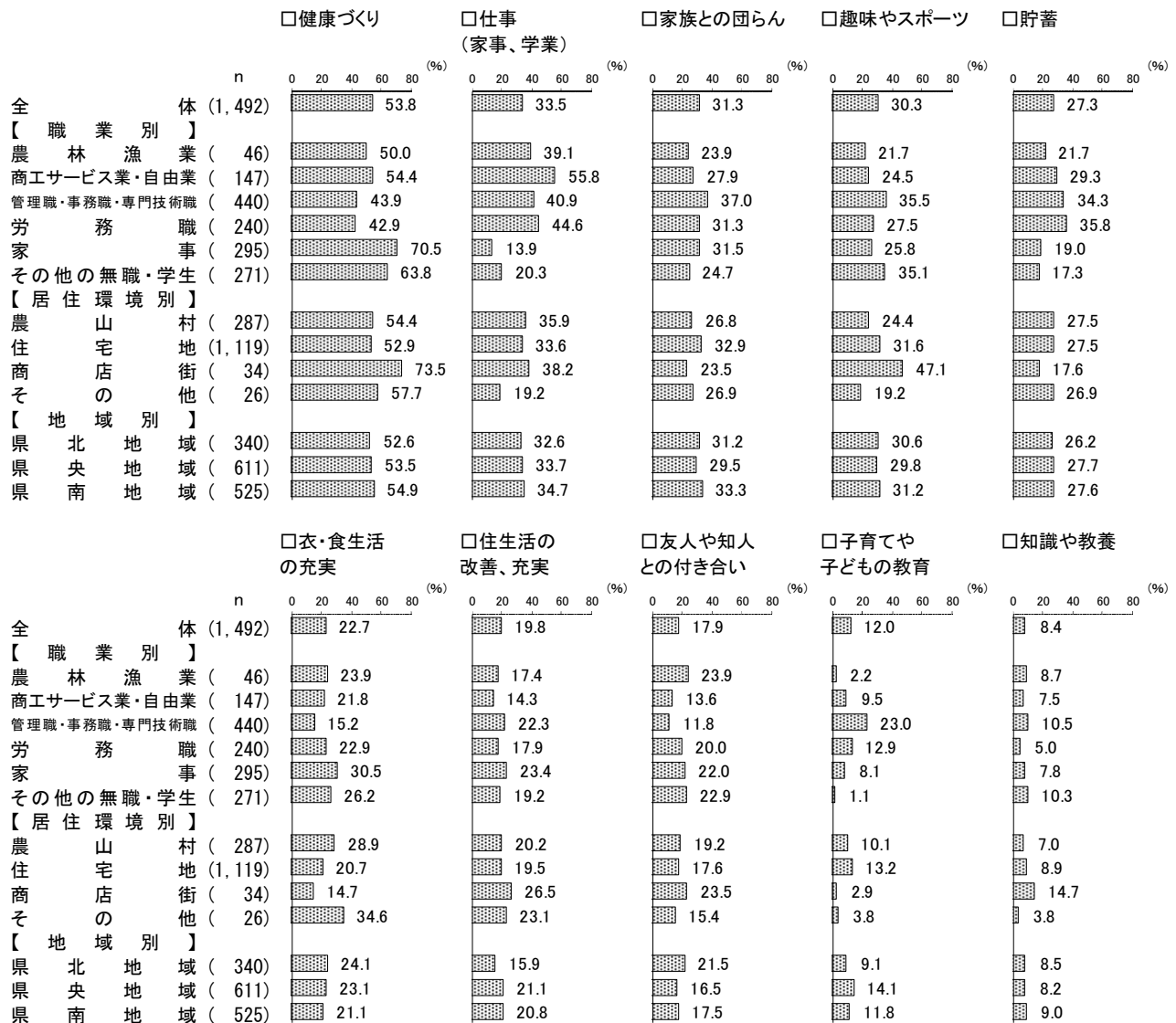
〔性別・性／年齢別〕（上位10項目）



性別でみると、「趣味やスポーツ」では〈男性〉（35.9%）が〈女性〉（26.0%）より9.9ポイント高くなっている。一方、「健康づくり」では〈女性〉（57.3%）が〈男性〉（50.4%）より6.9ポイント、「貯蓄」では〈女性〉（29.5%）が〈男性〉（24.1%）より5.4ポイント、「友人や知人との付き合い」では〈女性〉（20.6%）が〈男性〉（15.3%）より5.3ポイントそれぞれ高くなっている。

性／年齢別でみると、「健康づくり」では〈女性70歳以上〉が81.3%と高くなっている。「仕事（家事、学業）」では〈女性20歳代〉が61.0%、〈男性20歳代〉が60.7%と高くなっている。「家族との団らん」では〈男性60～64歳〉が42.3%と高くなっている。「趣味やスポーツ」では〈女性20歳代〉が49.2%、〈男性20歳代〉が47.5%と高くなっている。「貯蓄」では〈女性50歳代〉が47.8%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別] (上位10項目)



職業別でみると、「健康づくり」では〈家事〉が70.5%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈商工サービス業・自由業〉が55.8%と高くなっている。「家族との団らん」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が37.0%と高くなっている。「趣味やスポーツ」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が35.5%、〈その他無職・学生〉が35.1%と高くなっている。「貯蓄」では〈労務職〉が35.8%と高くなっている。

居住環境別でみると、「健康づくり」では〈商店街〉が73.5%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈商店街〉が38.2%と高くなっている。「家族との団らん」では〈住宅街〉が32.9%と高くなっている。「趣味やスポーツ」では〈商店街〉が47.1%と高くなっている。「貯蓄」では〈商店街〉が17.6%と低くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。